

平成25年度 京都市予算案 事業概要

総合企画局

事務事業名	下京区西部エリアの活性化推進事業		
予算額	10,000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	政策企画室(政策企画担当) (222-3035)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>下京区西部エリアは、梅小路公園をはじめ、京都リサーチパーク、中央卸売市場第一市場、商店街、文化・観光施設、大学などが集積し、多彩な魅力を有する地域である。</p> <p>梅小路公園では、「京都水族館」が平成24年3月に開業し、初年度の目標入場者数200万人を七箇月半で達成したほか、JR西日本による日本最大級の「鉄道博物館」の開業が平成28年春に予定されている。また、中央卸売市場第一市場では、平成24年8月に民間活力により整備された「すし市場」や、同年12月にプレオープンした「京の食文化ミュージアム・あじわい館」といった新たな魅力が加わった。</p> <p>今後、これらの施設に期待される、より一層の賑わいを、下京区西部エリア全体の活性化に繋げるため、民間活力を活かした将来構想を策定、実現することで、新たな京都の魅力を創出する。</p> <p>【事業概要】</p> <p>下京区西部エリアの活性化を目的とした将来構想の策定に向け、平成24年度に設置した「下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議」において、引き続き、地域資源の活用、課題の解決方法や地域の将来像などについて議論し、将来構想策定に向けた検討素材となる報告書を取りまとめる。</p> <p>また、平成25年度の新たな取組として、<u>エリアの現況等を把握するための基礎調査を実施するほか、エリア内の施設や団体と連携したイベント開催やホームページなどによる情報発信を通じて、民間活力を最大限生かせるネットワークの形成を図るとともに、地域活性化に向けた機運を醸成する。</u></p>			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			



平成25年度 京都市予算案 事業概要

総合企画局

事務事業名	戦略的広域シティPR事業		
予 算 額	15,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	市長公室(広報担当) (222-3094)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕 京都が持つ魅力を全国・海外に向けて発信し、シティPRを行うことで、京都ブランドの浸透、観光振興、経済の活性化など様々な面で大きな効果が期待できる。 こうした情報発信を効果的に行うため、首都圏等の多様なマスメディアに対して、魅力ある情報をダイレクトに提供し、いつ、だれに、どのように見せるかに主眼を置いた戦略的な働き掛けが重要である。</p> <p>〔事業概要〕 京都の持つ観光、歴史・文化の魅力はもとより、市政の先進的な取組等をシティPRの観点から、全国・海外へ向けて効果的に情報発信するため、</p> <p>(1) <u>首都圏を中心とした多様なマスメディアに魅力ある情報を提供し、全国・海外向けニュースとして紙面やテレビ番組等に採り上げられるよう、情報提供ルートやフォロー体制を確立する等の「戦略的広域パブリシティ・システム」を構築する。</u></p> <p>(2) <u>シティPR効果が特に大きいと認められる情報について、出版物等の企画・特集とタイアップしたイメージアップ戦略としての広報活動を展開する。</u></p> <p>※ パブリシティ マスメディアに情報を提供し、記事や番組等で採り上げてもらうこと。</p>			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			

平成25年度 京都市予算案 事業概要

総合企画局

事務事業名	岡崎地域活性化ビジョンの推進 「神宮道歩行者専用化推進プロジェクト」		
予算額	45,500千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	市民協働政策推進室(プロジェクト推進担当) (222-4178)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>岡崎地域の優れた都市景観・環境を継承し、更なる魅力創出を図るため、平成22年度に策定した将来ビジョンに基づき、本市と京都岡崎魅力づくり推進協議会*（以下、「協議会」）が中心となり、多くの市民・関係者の連携の下、様々な取組を進めている。</p> <p>昨年9月には、ビジョンの重要方策である「歩いて楽しい岡崎，神宮道の歩行者専用化」の実現に向けて、イベント型社会実験「京都岡崎レッドカーペット」（主催：協議会）を実施した。普段は道路である神宮道（冷泉通～二条通間）を舞台や憩いの場として開放し、グルメ・アート企画とともに、沿道公園と一体的に歩行者のための特別の賑わい・憩い空間を創出した。</p> <p><small>※岡崎地域の施設，団体，事業者，関連政策分野の団体，行政など30団体で構成される官民地域連携のエリアマネジメント組織（平成23年7月設立）。</small></p> <p>【事業概要】</p> <p>昨年9月の取組結果を踏まえ、平成25年度は、神宮道（冷泉通～二条通間）の歩行者専用化に向けて、関連調査と整備計画づくり等に取り組む。</p> <p>1 神宮道歩行者専用化に向けた整備計画の策定及び交通影響等の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道路・公園等の現況調査（測量等） ○交通影響等の検討…将来の自動車需要を見据えた交通量調査・解析を実施し、歩行者専用化に伴う交通影響等を検討する。 ○整備計画の策定…上記調査を踏まえ、神宮道を歩行者専用化し、沿道公園と一体的に整備する計画を策定する。 <p>2 神宮道憩いと賑わい創出事業「京都岡崎レッドカーペット」の開催</p> <p>昨年好評だったレッドカーペットの華やかな企画を継承し、神宮道を活用した協議会主催の魅力創出事業として継続開催することで、歩行者専用化実現への機運醸成を図る。</p> <p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】 昨年の「京都岡崎レッドカーペット」の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 9月22日（土），23日（日） 午前10時～午後5時 ※車両規制 午前8時30分～午後6時 ・来場者 約4.5万人 </div>			

平成25年度 京都市予算案 事業概要

総合企画局

事務事業名	「大学のまち京都・学生のまち京都」次期推進計画策定		
予算額	5,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	市民協働政策推進室(大学政策担当) (222-3103)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>京都市では、大学コンソーシアム京都との協働により、「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」(平成21～25年度)に基づき、大学の施設整備支援、行政と大学との連携による大学振興、大学と地域、産業との連携推進等を展開しており、これまでに市外へ移転した大学の市内回帰や、大学同士の単位互換制度、インターンシップの実施などの成果を挙げてきた。</p> <p>近年、18歳人口の減少、国際化、生涯学習に対するニーズの高まり等、大学を取りまく環境は変化し続けている。また、地域や産業界において、大学との連携による活性化の効果が広く認知されている。</p> <p>【事業概要】</p> <p>各大学の現状や学生、社会のニーズ等を踏まえ、18歳人口が減少する時代において、「大学のまち京都・学生のまち京都」であり続けるための新たな大学政策の指針として、<u>次期大学政策推進計画(平成26～30年度)を策定する。</u></p>			
<p>【参考(他都市の状況・事業効果など)】</p>			

平成25年度 京都市予算案 事業概要

総合企画局

事務事業名	海外留学派遣プログラム支援事業		
予算額	4,500千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	市民協働政策推進室(大学政策担当) (222-3103)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 近年、グローバルな視点を持ち、国際社会で活躍できる人材育成が求められている。こうしたことから、大学では、教育の質の向上や海外からの留学生の受入れの増加に取り組むとともに、日本人学生の海外への留学増加にも力を入れている。</p> <p>京都市としても、国内外の社会に貢献できる人材を育成し、京都の活性化に繋げるため、京都の大学の国際連携の推進や京都で学ぶ学生の海外留学を促進することで、若者が新しいことにチャレンジする行動力や国際感覚を養うことができる機会を拡充する必要がある。</p>			
<p>[事業概要] 平成25年度から、<u>大学コンソーシアム京都や各大学との協働の下、京都市域の活性化に資する留学プログラムを開発し</u>、「京都の大学の国際化の推進」、「京都で学ぶ大学生の海外留学の促進」及び「国際化の視野を持った地域の担い手の育成」を図る。</p> <p>(スケジュール)</p> <p>平成25年度 留学プログラムの開発 ※大学カリキュラムの編成上、通常、前年中には留学プログラムの内容を決定する必要があるため</p> <p>平成26年度以降 開発した留学プログラムによる留学派遣の実施 新たな留学プログラムの開発</p>			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

平成25年度 京都市予算案 事業概要

総合企画局

事務事業名	京都・ケルン姉妹都市提携50周年記念事業		
予算額	18,352千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠 局配分枠
担当課	国際化推進室（222－3072）		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 京都市とケルン市（ドイツ連邦共和国）は昭和38年（1963年）に姉妹都市提携を行い、平成25年には提携50周年を迎える。 これを契機に、両市の市民レベルの交流を更に推進するとともに、国際都市・京都を世界に発信するため、姉妹都市提携50周年記念事業を実施する。</p> <p>【事業概要】</p> <p>(1) <u>両市の代表団の相互派遣</u></p> <p>(2) <u>市民レベルの交流促進</u> 京都市内において、ドイツ音楽の演奏や記念植樹等を実施する。 また、ケルン市において、清水焼の展示や日本庭園の紹介等、京都・日本の文化を紹介するイベントを行うとともに、観光や京町家の保全・再生等の取組の紹介、京都の魅力のPRなど、京都創生の海外発信に取り組む。 さらに、京都市とケルン市の大学生が、両市のイメージを描いたポスターを展示するなど、両市間の大学交流の推進を図る。</p>			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

平成25年度 京都市予算案 事業概要

総合企画局

事務事業名	大型汎用コンピュータのオープン化の推進		
予算額	8,400千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	情報化推進室(情報システム担当) (222-3257)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>京都市では、大型汎用コンピュータを使用して、住民記録，税，福祉等の基幹業務システムを運用している。このシステムは、約25年にわたり本市の住民サービスを支えてきたが、現在、次のような課題を抱えている。</p> <p>① 大型汎用コンピュータは、特定の業者固有の技術で作られているため、運用・保守等の契約が随意契約とならざるをえず、競争原理が働かない。</p> <p>② 基幹業務システムは、導入時から改修を重ねているため、プログラムの構造が複雑化している。</p> <p>③ 大型汎用コンピュータは、近年普及している情報システムと基本的な設計が異なるため、最新のICT技術を利用した新しい行政サービスへの対応が困難である。</p> <p>④ 大型汎用コンピュータの機器は、限定生産となることから、機器が故障した場合などは、代替機器の調達に時間がかかるおそれがある。</p> <p>これらの課題を一挙に解決するためには、大型汎用コンピュータで運用している現在のシステムを、特定の業者固有の技術で作られていない機器等に移し替えて刷新すること（オープン化）が有効であり、京都市では、これまでから、オープン化に向けた準備として、現状分析や低コストで効果的な開発手法の調査・検討を行っている。</p> <p>【事業概要】</p> <p>大型汎用コンピュータについて、最新技術の導入とコスト削減，業務の効率化のため、オープンシステムへの刷新を図る。平成25年度は、<u>効率的で経費縮減が見込める新たな開発手法での事業着手に向け、開発経費やスケジュールなどについて、更に検討を進める。</u></p> <p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p> <p>本市と同様の課題を解決するために、札幌市，仙台市，さいたま市，名古屋市，神戸市，広島市，北九州市など多くの政令市が、オープン化に取り組んでいる。</p>			